

巻頭言

中国の武漢ではじまったコロナウイルスは、瞬く間に世界的に広がりました。武漢をはじめ中国の大都市が封鎖される現実とは思えないような事態が起こり、対岸の日本には、刻々とその恐怖が伝えられました。横浜港に停泊するダイヤモンドプリンセスという優雅な客船の中で急速に広がる感染の勢いに戦々恐々としていたころからすでに半年が経過しました。感染の世界的広がり、第二波の到達など、まだ今後の収束が見えてこない中で、新たな生活様式が予想もしなかった近未来の形として浸透しつつあります。日本は過去 10 年に多くの災害を経験してきましたが、世界全体が直面する危機となっています。

4 月から 5 月には、はじめてのロックダウンも経験し、お茶大の授業もオンラインへと移行しました。臨床心理学訓練の重要な一部である実習活動が中断され、本センターもしばらく閉室となりました。心理援助は、対人援助であり、人と人の「心理的接触」に基づいています。3 密のうち 2 密は、臨床活動と切っても切り離せない関係にあります。そのような中で本センターも、利用者の皆さまのニーズに応え、もう一方で最大限の安全を配慮する対策を立てようと努めて参りました。6 月に、相談員向けのオンラインカウンセリングに関する研修を開催し、オンラインによる対応もはじめました。漸く 10 月に入り全面的に相談を再開することになりました。利用者の方々にはストレスが高い時期にご不便をかけお詫び申し上げます。また、状況が不透明で様々な懸念がある中、利用者との方々との連絡をとり、つながりを維持しようと尽力したスタッフの方々にお礼申し上げます。今後も、安全に細心の注意を向けながら、出来るかぎり利用者の皆さまのニーズに応え、訓練・研究機関としての役割を果たす最善の方法を模索してまいります。

長年、本センター長を務められた篁倫子先生が今年度をもって退官されることになりました。長年にわたり、本学に貢献してくださった篁先生の功績を称え、本号は、篁先生の退官特集としてエッセイも掲載いたしました。本号には、計 7 本の論文が掲載されることになりました。研究論文とレビュー論文が中心となりますが、いずれも臨床的意義の高いテーマを扱

っています。

11月15日に発達臨床心理学コースの教育に長年貢献されました井原成男名誉教授がご逝去されたとの訃報を受けました。井原先生は、ウィニコットの移行対象の研究を独自に発展されました。つい最近、監訳書「クライエントとウィニコット ― 臨床パラダイムの比較と対話（岩崎学術出版）」が刊行されたばかりでした。多くのお茶大生だけでなく、私自身井原先生に育てていただいたように思っております。心よりご冥福をお祈りします。

本センターでは、コロナ禍が続く中で利用者および相談員の安全を確保し、オンラインでの相談も適宜受け付けながら、一方では利用者の心理的健康に、もう一方では大学院生の訓練と教育に寄与できるようさらに努力を続けていきたいと存じます。

心理臨床相談センター長 岩壁 茂